



Title	「ウランは掘らん!ウランは売らん!原発?私たちには いりません」 : 福島市民と心は1つというメッセージ を安倍首相に届けたモンゴルの反核運動家たち
Author(s)	今岡, 良子
Citation	モンゴル研究. 2013, 28, p. 66-71
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/102387">https://doi.org/10.18910/102387</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 「ウランは掘らん！ウランは売らん！原発？ 私たちにはいりません」

— 福島市民と心は1つというメッセージを安倍首相に届けたモンゴルの反核運動家たち —

今岡 良子

2013年3月30日と31日、安倍首相がモンゴルを訪問しました。その目的は、外務省のホームページにはこう書いています。

安倍総理大臣は滞在中、ツァヒヤール・エルベクドルジ大統領、ノロブ・アルタンホヤグ首相等と会談し、日・モンゴル二国間関係及び地域・国際情勢等について意見交換を行う予定です。

我が国とモンゴルは、昨年、外交関係樹立40周年を迎え、共通の外交目標である「戦略的パートナーシップ」の構築に向けた取組を進めているところです。今回の安倍総理のモンゴル訪問が、「戦略的パートナーシップ」の構築に向けた日・モンゴル間の協力を一層推進する契機になることが期待されます。

出所 [http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/25/3/press6\\_000061.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/25/3/press6_000061.html)

このどこにも、「ウラン」「原発」「核廃棄物処分場」という言葉はありません。

それでも、モンゴルの反核団体は、安倍首相に No Nukes のメッセージを伝えようと、スフバートル広場で行なわれる歓迎式典に面した国立図書館の近くでスタンディングをしました。

この写真は、スフバートル区の警察が、「デモの許可は出していない」と通告しに来た時の様子です。実際には、緑の党代表ボウムヤラクチさんが申請を出した後、再び呼び出され、許可しないと言われただけでなく、警官三人に押さえ込まれ、署名を強要されたそうです。ボウムヤラクチさんは身体的、精神的ショックを受け、その日、病院に行きました。



中央の2人、白い紙を持っているのが Ch. ムンフバヤルさん、環境ジャーナリスト、旗とプラカードを持っているのがボウムヤラクチさんです。

黄色のプラカードには「安倍さん！欲望より清廉を！核より緑を愛しましょう！核の商売人はモンゴルから手を引いてください！」と書いています。緑の党の旗を持っていますが、これも折り曲げられたそうです。

Ch. ムンフバヤルさんはコートを脱ぎ、メッセージの書いたスーツを示しました。「モンゴルは世界のゴミ箱だと？」そして、右手には白い布に "BE CLEAN! BE GREEN!" と安倍さんへのメッセージを持っています。のどかに見えるかもしれませんが、彼らは命がけです。日本の首相を守るために「特殊射撃部隊が見張る」という噂が出ていたので、意志を書いた服を身にまとい、撃つなら撃つてみようという意気込みです。



図書館前のリンチン先生の銅像の下で安倍首相が来るのを待ちます。



こちらは、ゴロムト反核運動の作ったメッセージ。「ウランは掘らん！」「ウランは売らん！」「原発？私たちにはいりません」そして「私たちは福島市民と連帯します！」と4枚ありました(写真は1つにまとめたもの)。多くのメンバーが参加し、プラカードを持ってデモをするつもりで用意したのだそうです。



メッセージを持っている背の低い方がミンジュールさん、大きい方が代表のアリオンボルドさん。彼らの前には、マイクロバスの装甲車が後ろの扉を開いて待っており、逮捕の準備はできていました。前日にアリオンボルドさんも警察に呼び出され、「デモは禁止、やれば、即刻逮捕する」と言われていました。しかし、福島に関する資料を読んでいるうちに、福島の市民への最大の支援は、「ウランを売らない」ということ。「自分たちは、苦しむ福島の人びとを無視して、日本にウランを売ってまで、豊かになりたいと思わない」という意志を日本の代表に伝えることが大事だと思い、安倍首相に伝えるためにスタンディングをしようと思ったそうです。



アリオンボルドさんによると、警察が強制排除をしようとした時、「自分たちは混乱を起こさないように、参加人数を数名に限り、協力している。それでも、逮捕するというのであれば、(目の前のスーパートル広場で)両国の要人たちが集まっている今、一発で撃ち殺せ！」と迫ったそうです。すると、警察も背中を向けた。このアリオンボルドさんは、日本人でいうと、湯浅誠さんに雰囲気似たおとなしい方です。こんな迫力のある啖呵を切るとは思いませんでした。

さて、そろそろ安倍首相の車が通る頃です。



安倍首相を乗せた黒塗りの車は、スタンディングの前をゆっくり通り、アリオンボルドは、「安倍さんがメッセージをじーっと読んでいる様子が見てとれた」そうです。



安倍首相が乗った車が通っているところです。



このスタンディングアピールは、テレビ局 TV5が夕方のニュースの中で3分18秒の長さで放送されました。

<http://www.youtube.com/watch?v=R6KYRmiAVfl&feature=youtu.be>

TV5からインタビューを受けるミンジュールさんは、「震災から2年経っても苦悩が続く福島の人びとを思い、モンゴルからウランを掘ることも、売ることも反対します。福島の人びとと心は1つです。原発はすべて撤廃。そのことを安倍さんに伝えたいし、福島の人に伝えたい」と話しているところが放送されました。

安倍首相の政府専用機には何人の随行記者が乗っていたのでしょうか？日本でこのスタンディングアピールは報道されることはありませんでした。「人民新聞」が唯一扱ってくれました。

<http://www.jimmin.com/html/doc/147801.htm>

このレポートを書くために下記の人々にインタビューしました。

ボウム モンゴル緑の党党首 <http://www.facebook.com/boumyalagch.olzod>

ムンフバイル 反核&環境ジャーナリスト モンゴル環境市民会議核問題委員長 緑の党書記長

<http://www.facebook.com/munkhbayar68>

アリオンボルド ゴロムト反核運動代表 <http://www.facebook.com/mongol.bogd>

ミンジュール ゴロムト反核運動メンバー <http://www.facebook.com/t.minjuur>

(いまおか りょうこ)